

第 23 回 ESPN 紀行文

静岡県立こども病院 脳神経外科 石崎 竜司

10 年以上前に当時の部長について偶然にもアムステルダムで行われた国際学会に参加したことはありましたが、今回、オランダのアムステルダムで行われた ESPN が実質初めての国際学会の参加となります。

今後、国際学会に参加してみようとしている先生の参考になればと思い紀行文を書かせて頂きます。

楽なツアーを申し込もうと思いましたが、5 月の連休中に行われたために、すでに空いておらず、自分で航空チケットとホテルをとっての一人旅となりました。

ホテル到着やクレジットカードが上手く使えない等のトラブルはありましたが、なんとか無事に到着しました。

初日から学会会場に行きましたが、JSPN との joint があったこともあり、山崎麻美先生、白根礼造先生、西山健一先生、稲垣隆介先生が来られていました。

最終日にチューリップで有名なキューケンホフ公園に行った以外は、発表はもちろん、夜の Welcome Reception や Dinner Venue にも出席しました。

発表を聞いてみると、さまざまな国からの豊富な症例数の統計的な発表や、胎児手術・銃や兵器による重症外傷など日本では聞く事が出来ない大変ためになる発表ばかりでした。

夜については、1 日目の Welcome Reception で、オランダ民族舞踊を見学し、3 日目の Dinner Venue では船で第 2 次世界大戦時に基地として使用していた離島に行き、4 日目は、カナルバスに乗って海洋博物館に行き、そこでのパーティーでした。

1 日目の Welcome Reception の後、西山先生に夕食をごちそうになり、Dinner Venue では、山崎先生、白根先生、稲垣先生とご一緒させていただき、海外の先生を紹介していただきました。

今回参加しての大きな収穫は、日本では聴く事ができない世界ならではの発表を聴くことができたことありますが、日本ではゆっくりとお話することができない日本の小児脳神経外科の有名な先生と様々なお話をさせていただいたこと、海外の先生を紹介して頂き、海外の先生との交流を持てたことだと思います。

国際学会に参加すると、せっかくの海外旅行なので観光に重点を置いてしまいがちですが、若手～中堅の間は特に貴重な体験ができるので、夜の Dinner Venue も含め、出来る限

りの学会日程に参加する方がよいと思います。

私自身は英語は苦手ですが、これからも毎年国際学会に参加して口頭発表をすることを目標として頑張っていきたいと思います。

